

自治体改善の輪 通信 2021 No13

《8/7(土) 自治体改善ステップアップセミナー2021 開催》



地域ビジョン実現に向け、チームで経営を改善

《担当部門の垣根を越えたチーム経営》

With コロナ、アフターコロナの新しい生活様式に向け、また、人口減少・少子高齢化を克服して地方創生するため、自治体の改善は、ますます加速しなければいけない状況にあります。

2021 年度の改善ステップアップセミナーでは、首長をはじめ管理部門担当者の方など 40 名近くの皆さんに参加していただき、8 月 7 日「自治体の経営改善」という大きなテーマに向けて、昨年度初めて開催した「チーム経営研究会」の振り返りをつうじて、今私たちに何ができるのか、担当を越えたチームでの取り組みについて、2つの自治体からの発表と、参加者同士のグループ対話を行いました。

《「チーム経営研究会」2020 年度実践報告》

「チーム経営研究会」とは、当研究会で 2020 年度実施した自治体支援メニューで、これまでの「事例研究会」をリモデルして「管理部門の連携」にフォーカスし、管理部門担当職員が部門を越えて一つのチームとなり、シームレスな連携を図ることで、自治体職員が一体感をもって地域ビジョンやプロジェクトの目的を実現できる経営改善策を研究する場です。その成果報告にあたり、福津市 原崎智仁市長、南伊勢町 小山巧町長からの応援メッセージも披露され、研究成果の発表が行われました。

《報告 1: 若者移住定住に向けて革新施策を生み出すには(三重県南伊勢町)》



南伊勢町では町の最大の課題を「若者の移住・定住促進」と捉え、30 年先を見通して総合計画基本構想に「生命力みなぎる常若のまち」をめざした「年少人口 V 字回復戦略」を策定し、従来にない新たな革新策に取り組もうとしています。

しかし、縦割り意識、前例踏襲意識からか従来の取り組み方からなかなか脱却できないでいました。

この目標達成に向け、今回管理部門の係長の皆さんが「チーム経営研究会」に参加し、組織を越えたチームとして研究を重ね、「ナショナルパークで暮らすアクアマリントウン南伊勢」をブランドコンセプトに捉え、これに基づく共通価値観をもとに設定した戦略目標が、庁内会議で町の方針として決定され、目標達成に向けて実行されてきています。

《報告 2: まちづくりの基本構想を実現する一体感のある市役所をめざして(福岡県福津市)》

新しい市長、新しい総合計画、「SDGs 未来都市への選定」の先陣を切って歩み出した福津市ではありますが、

- ✓ 「地方分権が求めている自律した経営体」へ 職員の意識改革 が不十分
- ✓ 「まちづくり基本構想」と、「人材育成基本方針」を始めとした各種仕組みが関連し合えず、行政経営システムの効果が出にくい
- ✓ 市が抱えている様々な課題に対する認識の共有が十分でない
- ✓ 職員が一体感を持っていない

といった現状、課題がありました。

自治体を取り巻く環境の変化や、前例のない課題に自らの力で柔軟に対応できる行政組織への変革を目指し、「チーム経営研究会」に参加し、一体どこに問題があるのか、どうしたら解決できるのか対話を重ねるうちに、今まで気付か



かった悩みや共通のめざす姿が見えてきました。

そして、チームの研究成果として、

- 「まちづくり基本構想」の実効性強化
- 各階層間で、課題、提案、情報共有のための場づくり
- 部長の経営力、課長のマネジメント力の強化
- 職員が能力を発揮できる働きやすい環境

などを柱とした提言をまとめました。

《～～皆さんの感想より～～》

今回のセミナーに参加した皆さんから、ご意見、感想をいただきました。

- ✓ 2事例とも、単にボトムアップの提言ということだけでなく、トップダウンとの連携がある中での取り組みと拝見しました。やはり実効的に改革をすすめるには、その二つの方向からの動きと連携が必要なこと改めて感じました。
- ✓ 素敵なチームですね！これからも「思いを共有できる場」を大切に継続されてください。
- ✓ チームとして一体感のある発表の様子が印象的でした。個人個人の満足感、充実感、幸福感があると、他責から自責になるのではと考えています。そのために、安心して会話できる環境づくり、目標の共有などを大切にしたいと思いました。
- ✓ 自治体経営の悩みおよび課題は、自治体の首長および構成職員が、変わっていく中で繰り返し、解決の発生と解決を繰り返しており、持続的に安定した経営は難しいと感じました。
- ✓ どちらの取り組みも、半年という短いスパンで多くの時間をとり、議論を進めて提案を練り上げられたこと、とてもすごいと思いました。
- ✓ この提案がどのように生かされていくのか、展開するのか(議会とか経営陣の判断とか、現実的にはハードルもあるのかもしれませんが)…。今後ともがんばってください。
- ✓ 今回の発表で、自治体の経営改善は激動の時代を迎えて、とても大切なことだと考えております。
- ✓ バックキャストिंगで実際に取り組んでいる姿勢が、今までの自治体ではなかなかできなかったことですので、とても良い内容でした。
- ✓ 皆様が協力してチームで作っていくのが良かったと思いました。引続き頑張っていたいただければと思います。



《実施結果総括、今後への方向性など》

今回セミナーにご参加いただいた皆さんには、各自治体でのミッションの実行にあたって組織されたプロジェクトやチームづくりに悩んでおられる方はもちろん、そのミッションをどう捉えるかなどに関心があつて参加された方にも、少なからず参考となることが発見できた場であったかと思えます。

そして、「チーム経営研究会」では、職員どうしが部署・担当の垣根を超えたチームとなって経営を改善する取組にチャレンジする一方で、職員と首長が立場を超えてつながり一体感を持って経営改善にチャレンジできるようになる取組なのだ、WEBを超えて熱さが伝わってくる集いになった気がします。

自治体改善マネジメント研究会は、今後も、「一つでも多くの自治体が、職員が持てる能力を最大限に発揮できる組織となる」よう、みなさまにとって有益な情報やイベントを発信し続けます。

(文責:長野県須坂市 寺沢)